

日本全国から出願可能に 6月末の東京で説明会 20組が上高のブースに

説明会に参加した皆さん 左から宮田校長先生・SC細川善輝さん・3A細川真莉菜さん・3B早坂凌成さん・中津茜さん(町教委・小堀雄二さん(町教育長) 会場は流通センター



上士幌高校は、来年の入試から十勝だけではなく、日本全国から生徒を募集できる「地域みらい留学」という制度を利用することになった。6月29・30日に東京で行われた「地域みらい留学合同説明会」には3年生2名を含む6人が参加し、ブース形式で全国から来た中学生や保護者に本校の魅力を説明した。新聞局では宮田校長先生と3年生2人から話を聞いた。はたして道外から受験する中学生は来るのか。

蒼—そうきゅう—穹

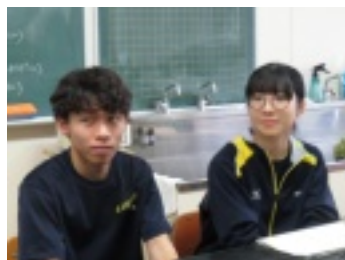
発行者
上士幌高等学校
新聞局
編集長
加納 夢萌
第292号
令和6年11月7日

宮田校長先生



◆ どうして地域みらい留学という制度を使うことになったんですか？

2回来てくれた人もいる(細川) 3、4人は出願するかも(早坂)



参加した3年生から見た「地域みらい留学」説明会

◆どんな話をしてきましたか？

3A細川真莉菜さん(以下細川) 主に

学校の概要・部活や補助金・街の様子を説明しました。

3B早坂凌成さん(以下早坂) 自分は住まいについても話しました。

◆興味がありそうでしたか？

細川 結構熱心に聞いている人が多く、2回来てくれた人もいました。

早坂 最終日まで合計20組も来てくれて、すごいなと思いました。

◆どんな点に興味があるようでしたか？

細川 給食があることにはびっくりしている人が多かったですね。あと検定のお金が戻ってくることやバス代、制服の補助も。

早坂 冬の気温や雪の多さに驚く人が多かったです。熱気球部があることも注目されましたね。

◆面白い質問はありましたか？

早坂 「男子のロン毛はアリですか？」というのがありました。

◆何人くらい出願すると思いますか？

細川 1、2人くらいかな。中3もいましたが、中2が特に多かったの再来年はもっと来てくれるかな？と思いました。

早坂 少なくとも3、4人くらいは出願すると思います。

◆ほかの高校生とも話しましたか？

細川 交流会のレクなどを通して高校生同士の絆ができたと思います。

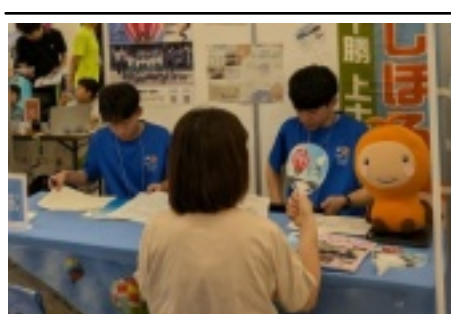
早坂 沖縄県の高校も一校来ていてびっくりしました。

◆ご協力ありがとうございました。(加納 夢萌・九谷田 紗央)

全国で中学生が少なくなってきた、本校も1クラスになってしまいかもしれないという危機感がずっとあったことが一番大きな理由ですね。

◆ クラスが減るとどういうデメリットがありますか？
先生の数が減って、今の選択科目はできなくなります。顧問も減るので、部活動も減らさなければならなくなります。そうすると中学生が別の高校を選ぶようになり、更に減っていつてしまうことがありますね。

◆ 入学できる人数は何人ですか？
詳しく言うと、推薦入



来場した保護者に説明する細川さん

◆ 私は来年卒業するので会えませんが、本当に来たら上高の雰囲気も少し変わるかもしれませんね。今日はありがとうございました。(加納 夢萌)

◆ 説明会での反応はどうでしたか？
一番多かったのは中学2年生とその保護者ですが、興味を持った関係の中学3年生がいて、保護者が見学していった。

◆ 住むところはどのくらいですか？
町の教職員住宅で空き家になっていて、今、寮として使っているようにしているところなんです。

箸休め

私は小説を読むのが好きだ。朝読書の時間は幸せだと私的に思っている。これまでだと中学3年の時がピークだった▼最近では子供より大人の方が本を読んでいないとテレビや野村先生から聞いた気がする。本当のところは分からないが、確実に思う▼子供は学校で読書の時間があるから嫌々でも本を読む人は多いはずだ。しかし大人に朝読書はないし、仕事があるのでも小説が大好きな人は睡眠時間を削ってでも読んでいます▼私もし休みに、たまに読むことがある▼でも家に帰るとスマホを触っていることが多い。家で読むのはめんどくさいからだ。ただスマホのメリットが多いとしても本に代わるものではないだろうとも思っている▼ちなみに私の推す本は「サクラサク、サクラチル」(辻堂ゆめ)と「死にたがりの君に贈る物語」(綾崎雫)だ。これから読む人のために詳細は書かないが、1つ目は親に復讐する話、2つ目は自分の好きな小説家が死んでしまう話である。(九谷田 紗央)

ヘイルツク族の文化を体験 カナダの少数民族と交流



1Aの笹村心優(しゅう)さんは「とかちエテケカンパの会」によるカナダ先住民族との留学交流事業に参加し、8月6日から14日間、ブリティッシュコロンビア州で過ごしてきた。勝毎でそのことを知った新聞局は、遅くなったが笹村さんをお願いして話を聞かせてもらった。

「ポトラッチ」という儀式を体験

◆ 参加した理由はなんですか？

海外に行ったことがなかったのがカナダに行きたかったのと、カナダの先住民族のことに興味があったからです。

◆ どんな日程だったんですか？

14日間といっても半分以上は飛行機が飛ばなかったりして待機していた期間なので、実際に滞在していたのは7日間くらいでした。新千歳空港からバンクーバーの空港に着いて、そこからベラベラ島という島に行き、先住民族のヘイルツク族が行う「ポトラッチ」という



会場の“ビッグハウス”で行われたポトラッチ。左右の端にトーテムポールが建っているのが分かる

儀式に参加しました。

◆ それはどんなものなんですか？

遠くから来た私たちというお客さんを歓迎する儀式で、2日間かけて財産を分け与えるという意味があるそうです。民族衣装を着た皆さんが祈りを捧げていました。

結婚式やキングサーモン、サマータイムも

◆ ほかにどのようなことがありましたか？

船でハカイという場所に連れて行ってもらいました。そこでヘイルツク族の若い2人の結婚式を見るのができました。新郎新婦がカナヌに乗って食事の会場に登場していました。

◆ 食べ物はどうなものでしたか？

食パンにキングサーモンを挟んだやつは美味しかった。鮭が主食のようで、たくさん釣った鮭は干して冬の間の保存食にするそうです。

◆ カナダの夏はどんな



ところでしたか？

サマータイム※があったので夜になってもとても明るかったから、最初は眠れませんでした。昼は気温が高いけど湿度がなくて日影は涼しかったです。でも夜は半袖じゃ寝れないくらい寒かった。

※夏に時計を1時間早めるという習慣のこと

自分のルーツについても知ってもらいたい

◆ 自分がアイヌの血をひいていることを知ったのはいつですか？

幼いころから親から聞いていたので知ってました。

◆ この交流をどのように活かしていきたいですか？

北海道でもアイヌの文化や歴史があまり知られていないと思うので、もっと知ってもらいたいです。

◆ 向こうの人と友達になれましたか？

ベラベラ島で釣りをして釣り友達として仲良くなれた人がいます。釣るのはやっぱり鮭です。(加納 夢萌・九谷田 紗央)

大谷翔平のグローブ 見せてもらいました



写真上 送られたnew balance社のグローブ 一番右のは左利き用
写真下 取材に協力していただいた、左から上士幌小学校の小野つかさ教頭先生、佐々木海世先生、新聞局の加納、九谷田



皆さんは現ドジャースでワールドシリーズ優勝を成し遂げた大谷翔平選手がエンゼルスにいた昨年、日本全国の小学校にグローブを送ったことを覚えているだろうか。新聞局は上士幌小学校に届いたものを見せてもらうことができた。取材したのは5月。遅くなってしまってますみません。教頭先生が持っているパネルにある大谷選手からのメッセージ

貴校ますますご清栄の事とお慶び申し上げます。

ロサンジェルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。

この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムをご紹介しますものです。

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ

大谷翔平

※文の改行位置はこの幅に合わせて調整した

[illegible]